

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) **登録実用新案公報 (U)**

(11)実用新案登録番号

第3021237号

(45)発行日 平成8年(1996)2月20日

(24)登録日 平成7年(1995)11月22日

(51)Int.Cl.⁶

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

A 6 1 F 13/15

A 6 1 F 13/ 18

Z

評価書の請求 未請求 請求項の数1 書面 (全4頁)

(21)出願番号 実願平7-9357

(73)実用新案権者 595127045

藤井 みさ

東京都杉並区清水3丁目7番22号

(22)出願日 平成7年(1995)8月2日

(73)実用新案権者 595127056

加藤 勝久

東京都立川市柴崎町1丁目19番3号

(72)考案者 藤井 みさ

東京都杉並区清水3丁目7番22号

(72)考案者 加藤 勝久

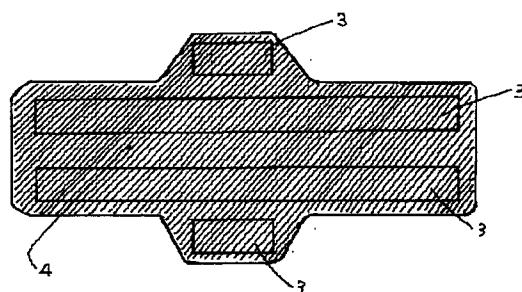
東京都立川市柴崎町1丁目19番3号

(54)【考案の名称】 裏面ウィング周辺着色模様付き生理用ナプキン

(57)【要約】 (修正有)

【課題】 生理時にナプキンを装着した際、外部からナプキンの装着を認識しにくくする。

【解決手段】 ウィング付きナプキンのウィング周辺の部分、及び裏面全体部分4の部分を着色、又は模様付け、下着にナプキンを装着した際、外部からナプキンの装着が認識しにくい。



(2)

登実3021237

1

2

【実用新案登録請求の範囲】

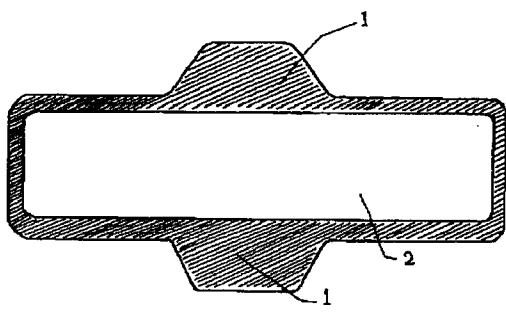
【請求項 1】 裏面並びにウイング周辺に着色又は模様付けされたことを特徴とする生理用ナプキン。

【図面の簡単な説明】

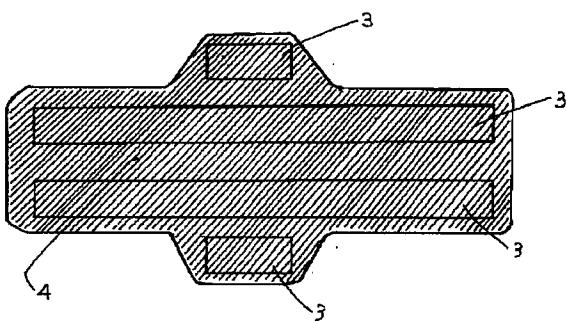
【図 1】 本考案の正面図である。斜線部について着色、模様付けをする。

【図 2】 本考案の裏面図である。斜線部について着色、

【図 1】



【図 2】



【考案の詳細な説明】**【0001】****【考案の属する技術分野】**

本考案は、裏面並びにウイング周辺に着色又は模様付けされた生理用ナプキンに関するものである。

【0002】**【従来の技術】**

従来の製品は、本考案の着色又は模様付け部分について、淡いピンクや白色の物が大半であり、他の色の下着を着用した際ウイング周辺との色調に違和感を感じ、又濃色の下着を着用した際には、下着を重ねて着用しないかぎり、生理中であることが外部からも認識される恐れがある。

【0003】**【考案が解決しようとする課題】**

生理中であることを外部から認識されることなく趣味趣向に合致した下着の着用を可能にし、合わせて生理用ナプキンのファッショニ性を高めこと。

【0004】**【課題を解決するための手段】**

下着にナプキンを装着した際、外部から認識しうるナプキン裏面及びウイング周辺を着色又は模様付けし、下着との一体感を図ることにより、外部からナプキンを装着していることを容易に認識しないようにすることにより問題を解決する。同時に、生理用品という消費者のイメージを変え、ナプキン自体のファッショニ性を高め、課題を解決する。

【0005】**【考案の実施の形態】**

従来のウイング付き生理用ナプキンと同様の方法で下着に装着する。

【0006】**【実施例】**

生理時に着用する下着と同色の着色を施したウイング部等をもつ生理用ナプキンを装着する。

【0007】**【実施例】**

生理時に着用する下着が模様付きの場合、類似の模様を施したウイング部等をもつ生理用ナプキンを装着する。

【0008】**【考案の効果】**

従来の生理用ナプキンが生理的清涼感のみを追求していたのに対し、本考案により上述のように下着との一体感を実現することにより、不決な生理時の精神的清涼感を図ることができる。